

エイジングケア・シリーズ

花粉症は治らないと洗脳されて
いませんか？

花粉症攻略 マスターガイド

野崎 隆志 (のざきん)

エイジングケア専門ヘルスコーチ

読者限定
個別相談権
特典付き！



なぜ？ どうして？

毎年、毎年繰り返すのか？
本当に治らないのか？

花粉症関連薬の保険適用外が提案されています。そうなる前に治しておきましょう！！

**40年間花粉症に苦しんだ私が、予防医学を学んで真の原因を理解して実践
さらに出逢った世界最先端科学を初公開！**

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。本冊子の著作権は、発行者にあります。本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第 1 条 本契約の目的:

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第 2 条 禁止事項:

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第 3 条 損害賠償:

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第 4 条 契約の解除:

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第 5 条 責任の範囲:

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

— 目次 —

- 1 章：アレルギー反応が起きやすい理由
- 2 章：花粉症が感染症の免疫力を下げる 7 つの怖い理由
- 3 章：腸内細菌が話題になるのはなぜでしょう？
- 4 章：腸をはじめ若い状態が大事
- 5 章：クスリの長期使用が怖い理由
- 6 章：目のかゆみにも即効性があるクスリを使わない対処法

花粉症攻略 マスターガイド

第1章

アレルギー反応が起きやすい理由



- 症状を改善したり治すためには、原因をさぐる
ことが大切です。
- 花粉症の原因は「花粉」と思われがちですが、
「花粉」に過剰に反応するアレルギー体質が本
当の原因です。
- 体質は生まれつきと考えられて、変えられないも
の、と思われてきました。
- だから、治らないんですね。
- しかし、生まれたばかりの赤ん坊のときに花粉
症の症状はあったでしょうか？
- このことからわかるように、あなたの長い間
の生活習慣から影響を受けて体質が変わってし
まったことが真の原因です。
- だから、あなたの攻略プランが必要です。

花粉症攻略 マスターガイド

第2章

花粉症が感染症の免疫力を下げる7つの怖い理由



• 花粉症は、辛いだけでなく放置すると怖い7つのことがあります。（だから治さなくっちゃ）

1. 鼻の粘膜免疫が機能しない
鼻が詰まると、細菌やウィルスの侵入を防御する粘膜免疫が機能できなくなり、感染リスクが高まります。
2. 口呼吸になり、血中酸素濃度の低下によって免疫力が低下します
3. 睡眠が浅くなり、免疫力が低下します
4. マスクの着用によって、血中酸素濃度の低下によって免疫力が低下します
5. 窓を開けられないため、ナイチンゲール時代から続く感染症の最重要対策である換気が不十分になります
6. 屋外での運動が不足気味になり、免疫力が低下します
7. 長期間クスリを服用することによって免疫力が低下します

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
スギ (スギ科)												
ヒノキ (ヒノキ科)												
カモガヤ (イネ科)												
ブタクサ (キク科)												
ヨモギ (キク科)												
シラカバ (カバノキ科)												
ハンノキ (カバノキ科)												

- 鼻が詰まるだけで、感染リスクが高まることをご理解いただけたでしょうか？
- この免疫力の低下がすぐに新たな病気を引き起こすわけではありませんが、すでに別の病気を持っている人は要注意ですね。
- いわゆる基礎疾患をもって居られる方は、免疫力が低下気味ですから、花粉症も対策されて可能な限り免疫力を高く維持されることをお勧めします。
- 本書では詳細は割愛しますが、基礎疾患の改善には免疫レベルを高く維持することが必要になります。
- そのためにも、たかが鼻詰まり、されど鼻詰まりなのです。

花粉症攻略 マスターガイド

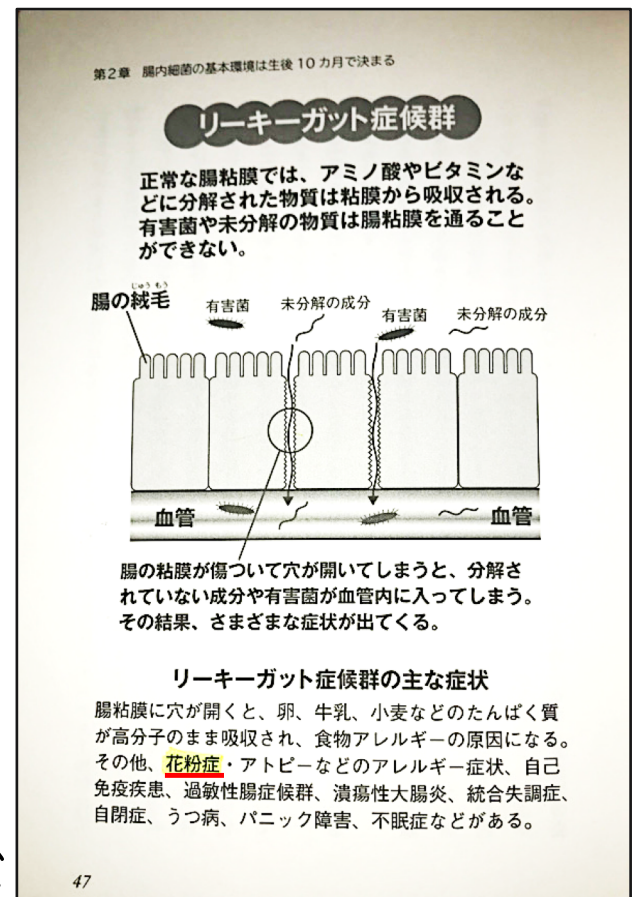
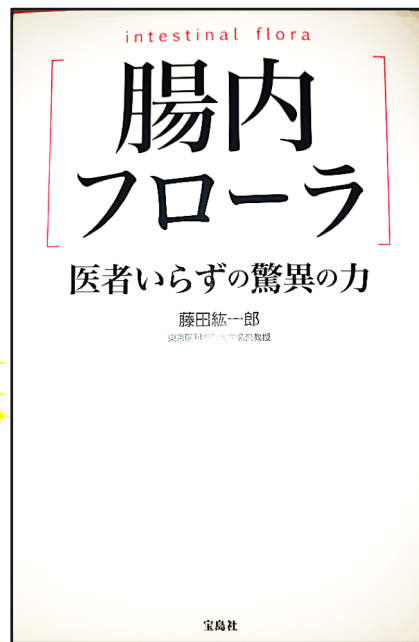
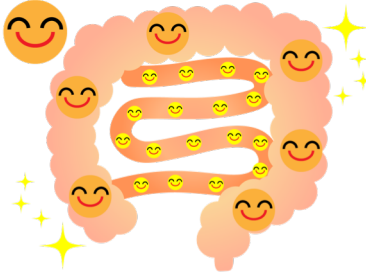
第3章

腸内細菌が話題になるのはなぜでしょう？



- 花粉の季節になると、腸内細菌の話題、テレビコマーシャルが多くなりますよね？
- アレルギー体質と腸内細菌は関係がありそうです。
- ある特定の物質（花粉）に対して、免疫システムの防御反応が過敏に起こるのがアレルギー体質です。
- その体質とは、どこを指すのでしょうか？
- 答えは血液ですから、血管の中ということになります。
- この血管にさまざまな物質を選択的に取り込むのが腸です。

藤田紘一郎
東京医科歯科大学
名誉教授著の
「腸内フローラ」
P47より抜粋



- この腸が正常に機能していると、普通に食事をしていけば、食べたものが消化されて必要な栄養素が血管に吸収されていきます。
- ところが、バランスを崩したり、損傷がおきると様々な良くないことが起きてきます。
- 何が起こるのでしょうか？
- 残念ながらありとあらゆることが起きてしまいます。
- その一つがアレルギー体質への変化です。
- その原因の一つとして注目されているのが、「リーキーガット」と呼ばれる症状です。



- リーキーガットについて耳にされたことはあるでしょうか？

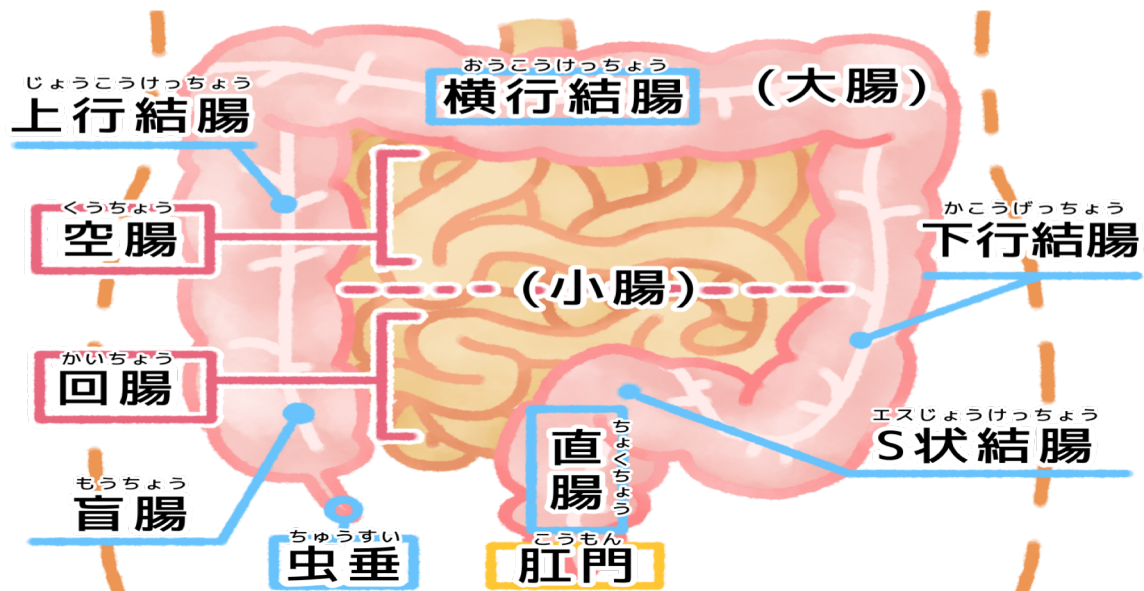


- プロテニスプレーヤーのジョコビッチ選手が「リーキーガット」で体調を崩し、食事を見直して復活した話が有名です。
- この「リーキーガット」は、消化しきれていない食物分子が、そのまま血管に流れてしまうために、血管内で異物扱いされて、炎症がおり、アレルギー体質になる一因とされています。
- 「リーキーガット」になる原因も、食事やストレスなどさまざまですが、ちょっとした工夫で対策できます。
- 腸内細菌の役割は重要です。

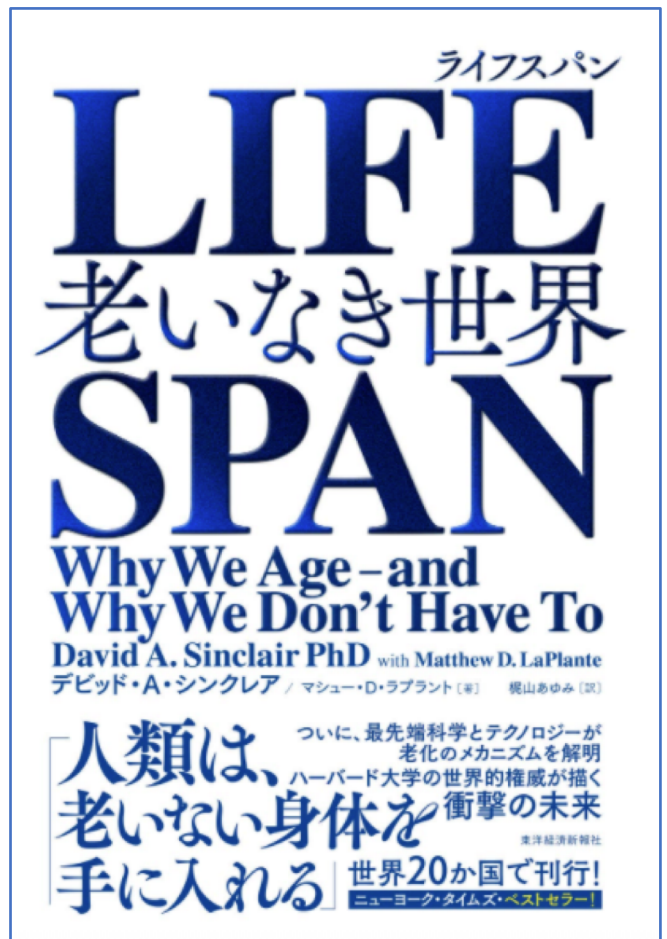
花粉症攻略 マスターガイド

第4章

腸をはじめ若い状態が大事



- 腸の状態を良くして、つらい花粉症から解放されるだけで十分に嬉しいですね。
- しかし、腸に問題があるということは他にも悩ましい状態があったはずですよ。
- 他の状態も改善されたらうれしいですね？
- クスリによるピンポイントな対症療法では、このような全体的な改善はなかなかありません。
- そして、もう一つ考えていただきたいことが、若い時にはどうだったかということです。
- 生まれつきではなく、成長の過程、社会人になってから、などなど生活習慣の変化によってさまざまな状態の変化が起きてきたのではないのでしょうか？



- これまでは、加齢とともに、辛い部分が増えることはしかたないことと考えられてきました。
- しかしながら、今は「**老化＝病気**」であり病気なら治せる、という考え方も生まれてきました。
- つまり、生活習慣を意識することで、若い状態を保つことができる、あるいは**若い状態に戻す**ことができる、そういう時代になってきました。
- エイジングケア専門のヘルスコーチである私の使命は、あなたを若いときの状態に少しでも戻すことにあります。

花粉症攻略 マスターガイド

第5章

クスリの長期使用が怖い理由



のざきんの2年前から服用していない抗アレルギー剤

- 現代は西洋医学が目覚ましい進歩によって、簡単には死なない時代になっています。
- 外科手術の高度化、クスリの発展は目覚ましいものがあります。
- 外科医は、縫い合わせた傷口が自然に治癒することから、**自然治癒力**をもっとも理解している方々だと言われています。
- 高度なクスリを使う内科医も、**クスリが効かなくなる耐性**を理解されていると言われています。
- クスリを長く使うと、慣れてきて量を増やさないと**効きが悪く**なります。
- クスリは身体に強制的に作用するため無理がかかる、**ストレスになる**とも言われています。



- やはり、クスリを短期的にうまく使って自然治癒力を生かすことがもっとも大切ということです。
- そもそもなぜ長くクスリを使用するのでしょうか？
- それは、原因を治していないからです。
- もし、長く花粉症のクスリを服用されてきたのであれば、この機会にクスリを使わない選択をしていたきたいと思います。
- いきなりクスリを止めるのではなく、減薬から断薬というプログラムを組んでじっくりと取り組むことをお勧めします。
- そのためには、クスリに変わる対処方法を活用しながら、原因を治すのが良いでしょう。

花粉症攻略 マスターガイド

第6章

目のかゆみにも即効性があるクスリを使わない対処法



- クスリを使わない治療方法として、東洋医学は有名です。
- 東洋医学は、科学的な根拠がないことを理由に否定されることも多かった時代がありますが、昨今では科学的に裏付けが行われています。
- 抗がん剤の副作用などクスリが使えないシーンでは、鍼灸が世界中で使われているようです。
- そのため、ツボや経絡の位置の表記をWHO（世界保健機構）が管理するようになっていきます。
- 科学的に解明が進むと、鍼灸に変わる科学的な刺激によって、より精度の高い効果が期待できるようになりました。
- ここに急性疾患は西洋医学を中心に、慢性疾患には科学的に進化した東洋医学を応用するチャンスが生まれてきました。



- 私はこのパッチを使って症状を軽減することができました。
- まったく薬効がなく、鍼灸のように鍼で刺したり、熱を加えることのないパッチで皮膚の神経を穏やかに刺激することで、脳を介して身体が反応するもっとも安全な仕組みを利用しています。
- ホリスティック（全体的）に炎症を抑える作用が大きいパッチを活用することで鼻炎、腸炎、アレルギー反応が軽減するようです。
- 花粉症に効果があるツボがたくさんあり、自分に効果的なツボを是非見つけてみてください。
- このパッチが体感できれば、花粉症も寛解する可能性が高まります。
- サンプルパッケージをご用意いたしましたので、是非、一度体験してみてください。

花粉症攻略 マスターガイド

最後に

最後までご覧いただき
誠にありがとうございました。

病気から解放されることが
大きな願いですが
そもそも病気にならないことが一番の願いです。

老化が病気の原因とされます。
その老化も治せるという時代になってきました。

そう、老化しなければ病気にならないことになり
ますね。

いっしょに若い状態に戻っていきませんか？

[サンプルパッケージのご紹介はこちら](#)

原因は人それぞれです。
試行錯誤の時間を短くするには個別相談が近道です。

[個別相談のご依頼はこちら](#)